

令和2年度 第12回下野市教育委員会定例会議事録

日 時 令和3年3月17日（水）午後1時30分～午後4時50分

会 場 下野市役所3階 304会議室

出席委員 教 育 長 池澤 勤 職務代理者 永山 伸一
委 員 熊田 裕子 委 員 石嶋 和夫
委 員 佐間田 香

出席職員 教育次長 清水 光則
教育総務課長 近藤 善昭
学校教育課長 田澤 孝一
生涯学習文化課長 篠崎 正代
文化財課長 山口 耕一
スポーツ振興課長 若林 毅
教育総務課長補佐 神田 晃
学校教育課主幹 稲葉 亜希恵
教育総務課主事 岡野 祐衣

公開・非公開の別 公開（一部非公開）

傍聴者 0 人

報道機関 0 人

議事録（概要）作成年月日 令和3年4月16日

議 題

- 議案第55号 令和2年度下野市教育委員会表彰被表彰者の決定について（追加）
- 議案第56号 下野市学校運営協議会委員の任命について
- 議案第57号 下野市地域学校協働活動推進員の任用について
- 議案第58号 第二次下野市教育振興計画の策定について
- 議案第59号 下野市教育職員の健康及び福祉の確保に関する規則の制定について
- 議案第60号 下野市立小中学校における学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）作成委託料支払事務取扱要領の一部改正について
- 議案第61号 下野市生涯学習情報センター条例施行規則の一部改正について
- 議案第62号 下野市生涯学習情報センターに勤務する職員の勤務時間等に関する規程の一部改正について
- 議案第63号 下野市公民館振興計画（第二次）の策定について
- 議案第64号 下野市図書館基本計画（第二次）の策定について
- 議案第65号 下野市スポーツ推進計画〔後期計画〕の策定について

報告事項

- (1) 教育委員会後援等の承認について
- (2) 寄附の受け入れについて
- (3) 令和2年度通学路整備要望と対応結果について
- (4) 学校提案型特色ある教育活動推進事業補助金交付要綱の廃止について
- (5) 令和3年度教育研究所要覧について
- (6) 令和3年度下野市外国語指導助手派遣者について
- (7) 下野市生涯学習推進計画（第三次）について
- (8) 下野市子どもの読書活動推進計画（第四次）について

その他

- (1) 第二次下野市教育大綱の策定について
- (2) 令和2年度小中学校卒業記念品の状況報告について

1. 開会
- (池澤教育長) 2. 教育長挨拶及び報告
- 2月18日から3月16日までの職務について報告させていただく。
- ・2月18日、第2回総合教育会議が行われ、第二次下野市教育大綱の承認を得た。
 - ・2月24日、議会定例会が開会された。人事案件として、新教育長に石崎雅也氏が承認された。また、石嶋和夫教育委員の再任が承認された。
 - ・2月25日、臨時教育委員会が行われた。令和3年度の人事異動についてご承認いただいた。
 - ・3月4日、市内小中学校長を対象に、しもつけ風土記の丘資料館のリニューアルオープン前内覧会が行われた。
 - ・3月11日、市内中学校の卒業式が行われ、男子生徒272名、女子生徒259名、総数531名が巣立っていった。
 - ・3月16日、定例校長会と議員全員協議会が開催された。定例校長会では、教職員の内々示が行われた。議員全員協議会では、市内小中学校の水道蛇口レバーの設置と、顔認証をして自動で体温を測る機械を公民館・生涯学習情報センター・歴史館・資料館に設置することによる追加補正予算の説明を行った。
 - ・同日、市内小中学校教職員の、人事異動の内々示が行われた。

以上の報告内容について、質疑等はあるか。(特になし)

3. 議事録署名人の選任 永山委員及び佐間田委員を指名

4. 前回議事録の承認

- (池澤教育長) 前回議事録について、事務局より説明をお願いする。
- (神田教育総務課長補佐) 第11回教育委員会定例会及び第2回教育委員会臨時会の議事録について、修正箇所の説明を行う。また、総合教育会議の議事録については、後ほど確認をお願いする。
- (熊田委員) 総合教育会議の議事録は、いつまでに確認すればよいか。
- (神田教育総務課長補佐) 次回の教育委員会までをお願いしたい。
- (池澤教育長) 議事録はこのとおり承認とする。

5. 議題

- (池澤教育長) 議案第55号から第57号までについては、個人情報が含まれていることから、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」の規定により非公開で行いたい。各委員の意見をお伺いする。
- (全委員異議なし)
- それでは、議案第55号から第57号までについては、非公開で行うことと決定する。
- まず、議案第55号 令和2年度下野市教育委員会表彰被表彰者の

決定について（追加）、説明を求める。

以下、非公開

(池澤教育長) 議案第55号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第55号は原案どおり決定する。
続いて、議案第56号 下野市学校運営協議会委員の任命について、説明を求める。

以下、非公開

(池澤教育長) 議案第56号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第56号は原案どおり決定する。
続いて、議案第57号 下野市地域学校協働活動推進員の任用について、説明を求める。

以下、非公開

(池澤教育長) 議案第57号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第57号は原案どおり決定する。
ここで非公開を解く。
続いて、議案第58号 第二次下野市教育振興計画の策定について、説明を求める。

(近藤教育総務課長) 「第二次下野市教育振興計画(案)」に基づき、先月示したのものから修正した箇所について説明を行う。

(池澤教育長) 質疑等はあるか。(特になし)
議案第58号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第58号は原案どおり決定する。
続いて、議案第59号 下野市教育職員の健康及び福祉の確保に関する規則の制定について、説明を求める。

(田澤学校教育課長) 「公立学校の教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員のサービスを監督する教育委員会が教育職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき措置に関する指針【概要】」に基づき、規則制定の経緯について説明を行う。また、「下野市教育職員の健康及び福祉の確保に関する規則」に基づき、概要の説明を行う。

(池澤教育長) 質疑等はあるか。
(佐間田委員) 管理職も対象なのか。
(田澤学校教育課長) 管理職も含んでいる。
(佐間田委員) 教職員の出退勤管理はどのように行っているのか。

(田澤学校教育課長) 現在下野市では、ICTを活用した出退勤管理を行っている。校務支援ソフトに備えられている出退勤管理のシステムは、出勤してパソコンの電源を入れるとソフトウェアが立ち上がり、そこで出勤打刻を

行う。退勤も同様に打刻を行い、自動で処理される。また、学校によっては、タッチパネル式のパソコンがあり、タッチして出退勤の打刻を行うシステムもある。

教育委員会の管理主事が1か月ごとに集計し、学校の管理職に結果を戻して、改善ができるように進めている。

(池澤教育長)

他に質疑等はあるか。

(熊田委員)

規則の第2条では、4つの条件が示されているが、これらは、何かを参考にして書いているのか。

(田澤学校教育課長)

市で定めるものについては、国から出ている指針と県から出ている指針を参酌して作成している。第2条第2項については、基本的にはあまり起こらないであろうという例外なので、細かく示している。

(熊田委員)

第2条第2項(1)は「未満」という記載があるが、他の項目には記載がない。

(田澤学校教育課長)

例規の審査は受けているが、ご指摘いただいたところの指針を見ると、「以内」という記載があるので、見直しをさせていただきたい。

(佐間田委員)

恐らく、心疾患に伴う過労死の基準が定められている法律があるので、そこからもってきているのではないか。

(田澤学校教育課長)

国が出している指針に基づいて作成しているので、それに合わせて、第2条第1項(1)と(2)は「以内」、第2項(1)は「未満」、(2)と(3)は「以内」とさせていただきたい。また(4)は、「6箇月」と、体言止めになっているが、「6箇月まで」とさせていただきたい。

(池澤教育長)

他に質疑等はあるか。

(佐間田委員)

部活動の練習試合もカウントするのか。

(田澤学校教育課長)

記録していただいている。その日に記録ができない場合は、後日、自分で入力して修正することが可能である。管理職は、記録を全部見ることができるので、記録が漏れている場合は指導をする。正確に先生方の勤務の状況を把握し、少しでも定められている時間に近づけるように努めている。

(佐間田委員)

部活動の保護者会がある時、先生は関係ないが、学校に残っていないなければならない。その場合、勤務時間としてカウントされてしまう。部活動の保護者会やPTAの集まりは、公民館等の施設を減免で貸出すようにすれば、先生方が早く帰ることができるのではないかと考えていた。

(田澤学校教育課長)

理想ではあるが、難しい部分がある。先生方にも責任があり、学校内が一番場所を提供しやすい。

(池澤教育長)

議案第59号は、訂正をして決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第59号を決定する。

続いて、議案第60号 下野市立小中学校における学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)作成委託料支払事務取扱要領の一部改正について、説明を求める。

(田澤学校教育課長)

「下野市立小中学校における学校生活管理指導表(アレルギー疾患

用) 作成委託料支払事務取扱要領の一部を改正する要領」に基づき、改正箇所について説明を行う。

(池澤教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

議案第60号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第60号は原案どおり決定する。

続いて、議案第61号 下野市生涯学習情報センター条例施行規則の一部改正について、及び、議案第62号 下野市生涯学習情報センターに勤務する職員の勤務時間等に関する規程の一部改正について、一括して説明を求める。

(篠崎生涯学習文化課長)

「下野市生涯学習情報センター条例施行規則の一部を改正する規則」及び「下野市生涯学習情報センターに勤務する職員の勤務時間等に関する規程の一部を改正する規程」の資料に基づき、説明を行う。

(池澤教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

議案第61号及び議案第62号を決定してよろしいか。

(全委員承認)

議案第61号及び議案第62号は原案どおり決定する。

続いて、議案第63号 下野市公民館振興計画(第二次)の策定について、説明を求める。

(篠崎生涯学習文化課長)

「下野市公民館振興計画(第二次)(案)」に基づき、概要の説明を行う。

(池澤教育長)

質疑等はあるか。

(佐間田委員)

P11に「地域元気プログラム」とあるが、具体的にはどのようなものなのか。

また、P24(ウ)「地元企業等を巻き込んだリカレント教育」とはどのようなものなのか、教えていただきたい。

(篠崎生涯学習文化課長)

同ページ内に「※」で示しているが、「リカレント教育」とは「学び直し教育」のことである。計画段階なので、まだ具体的には実施する内容は決まっていない。

また、P11の「地域元気プログラム」について、細かいことは把握できていないが、一人の100歩ではなく、100人が一歩踏み出せるための体制づくりについてである。

(石嶋委員)

年金をもらえる年齢が上がり、退職後も働かなければならず、悠々自適に過ごせる年齢が上がっている状況である。今までの発想で稼働率や利用率を考えても実態に合わないのではないかと思う。量的な目標を設定しても、質や満足度を高めることを考えなければ上手くいかないのではないだろうか。

(篠崎生涯学習文化課長)

稼働率だけでなく、質を考えていくようにしたい。指導員も何年か経験を積まれて、広がりを見せた講座を計画してくれるようになってるので、今後検討しながら講座のほうも進めていきたい。

(池澤教育長)

他に質疑等はあるか。

(熊田委員)

P11「受講者数の推移」では、多少参加が減っているという話であったが、令和元年度は、新型コロナウイルスの影響で1割ほど落ち

ているという印象があった。高齢者の方は喜んで参加していらっしゃって、まだ地域のコミュニティを担っていると思った。自主サークルの数も1回増えてまた減っているが、色々なサークルがあるので、数にこだわらなくても良いのではないかと思う。

(池澤教育長) 議案第63号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第63号は原案どおり決定する。

続いて、議案第64号 下野市図書館基本計画(第二次)の策定について、説明を求める。

(篠崎生涯学習文化課長) 「下野市図書館基本計画(第二次)(案)」に基づき、概要の説明を行う。

(池澤教育長) 質疑等はあるか。

(石嶋委員) P3の入館者数、貸出人数、貸出冊数の表で、南河内の平成26年度と令和元年度で比較すると入館者数がかなり減っている。貸出人数や貸出冊数は、入館者数ほど減っていないのはなぜか。

(篠崎生涯学習文化課長) 南河内図書館の中に庁舎の分館が入っていた時期があった。自動扉でカウントしているため、庁舎の分館の利用者も図書館の入館者として入ってしまっていた。

(石嶋委員) 子どもの数が増えない中で、目標値が増えている。これから右肩上がりには期待できない状況になると思うので、将来的には、現状維持も立派な進歩であるというような発想でいかなければならない。無理して数値を上げる必要はないのではないかと思う。

(佐間田委員) P7(5)④「利用者への接遇の向上」という表現について、委託業者が入ったからなのか、一般の接客業のような不思議な感じがした。「職員の資質の向上」のほうがじっくりくるのかなとも思った。

(篠崎生涯学習文化課長) 指定管理が入っているというところで、「接遇」という表現になったと考えられる。

(池澤教育長) 他に質疑等はあるか。

(熊田委員) 図書館ボランティアをしていて、接遇は向上してほしいと思っている。個人の資質もあると思うが、気持ちが悲しくなるような対応の時もあったので、表現の問題だと思うが、サービス業としての意識も持っていたきたい。

レファレンスサービスがとても良く、新規の計画も魅力的である。石嶋委員がおっしゃるように、目標値を上げることは難しいことなので、現状維持という意見にも賛成である。

P4「図書館評価総評」に「下野歴史講座・・・の開催がされました。」とあるが、「下野歴史講座・・・が開催されました。」のほうが良いと思う。

(篠崎生涯学習文化課長) 訂正させていただく。

(池澤教育長) 議案第64号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第64号は原案どおり決定する。

続いて、議案第65号 下野市スポーツ推進計画[後期計画]の策定について、説明を求める。

(若林スポーツ振興課長) 「下野市スポーツ推進計画〔後期計画〕(案)」に基づき、概要の説明を行う。

(池澤教育長) 質疑等はあるか。

(永山委員) P70サブタイトルが「スポーツをつながる」になっており、日本語として変な感じがするが、特別な意味があってこのような表現にしているのか。

(若林スポーツ振興課長) 「スポーツでつながる」が正しいので、訂正させていただく。

(池澤教育長) 議案第65号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第65号は原案どおり決定する。

6. 報告事項

(池澤教育長) (1) 教育委員会後援等の承認について、説明を行う。

(近藤教育総務課長) 3月現在で、後援4件を承認した旨の報告を行う。

質疑等はあるか。

(熊田委員) グリム絵画展の展示期間について、2月13日(土)～20日(土)

となっているが、令和4年2月13日と20日は日曜日である。

(近藤教育総務課長) 訂正させていただく。

(池澤教育長) 続いて、(2) 寄附の受け入れについて、説明を行う。

(近藤教育総務課長) 株式会社 誠和様から、小学校新入生の応援のために、生活科バック540個と防災ずきん540個を寄附いただいた。

また、小林 宏様から100万円の寄附をいただいた。地域づくり事業推進基金に積立を行い、令和4年度に予算化を予定している。

(池澤教育長) 誠和様からいただいた物の金額はいくらになるのか、補足をお願いする。

(近藤教育総務課長) 生活科バックと防災ずきん併せて約200万円である。

(池澤教育長) 続いて、(3) 令和2年度通学路整備要望と対応結果について、説明を行う。

(近藤教育総務課長) 【説明要旨】

本市では、小中学校における通学路の安全確保を図るために、危険箇所を把握して対策をとっている。令和2年度は各校より26件の整備要望が出された。学校ヒアリング及び推進委員による合同点検を実施し、道路の管理者に検討をいただいた結果をまとめたものが別紙一覧表である。要望番号欄に「(新)」と書かれた案件が新規の案件であり、10件であった。実施評価については、P7にあるような条件で○△×で評価を行っている。令和2年度の評価状況は、○が8件、△が14件、×が4件である。

以下、評価が×となった4件について、検討結果及び対応状況の詳細説明を行う。

(池澤教育長) 質疑等はあるか。

(永山委員) 地道な努力が非常に大事だと思うので、引き続きお願いしたい。かましん自治医大店と祇園交番のところにある交差点にガードパイプが付い

ていた。交通事故は、衝突してはじき返された車両が飛び込んできて起こることが多い。大きな交差点にガードパイプがあるということは、そのような車両を防止する意味で非常に効果があると思う。鹿沼のクレーン車の事故があった時に、教育委員会から市長に話をして、当時景観重視のために外す傾向にあったガードパイプやガードレールを、設置をしていただきたいという要望書を出した経験がある。新たに設置する方針に変わったのか。

(近藤教育総務課長) 大津市で起きた死亡事故を踏まえて、道路管理者の方で設置を進めていただいている。市道にも設置した例があり、通学路安全推進会議においても、そのような議題は出ている。

(永山委員) 素晴らしい取組だと思うので、その旨お伝えいただきたい。

(熊田委員) No. 16 古山小学校からの要望について、「令和2年度の検討結果及び対応」のところには、「横断歩道の設置はできない」とあるが、要望内容は「停止線の路面標示をお願いしたい」というものなので、要望と回答が合っていない感じがした。

(近藤教育総務課長) 警察の方では、横断歩道とセットで停止線の標示を考えているのだと思う。停止線の標示をすることになると、交差点なので、どちらを優先にするのかという問題もある。文章のニュアンスは不明な部分があるが、基本的には変形の交差点なので、横断歩道の設置は難しく、停止線についても、それと関連があるか不明だが、標示は難しいということである。

(熊田委員) 自治会で停止線の問題に関わったことがある。南北に停止線が付いているから、優先道路には停止線をひかないという意味かなと思ったが、緑小地区に4つ停止線が付いているところもある。

粘り強く要望していけば対応していただけることもあったので、必要であれば、また要望を出していただくと良いのではないかと思った。

(近藤教育総務課長) 要望内容と回答内容のニュアンスが若干違っているので、お互いに確認しながら、また来年度実施していきたい。

(池澤教育長) 続いて、(4) 学校提案型特色ある教育活動推進事業補助金交付要綱の廃止について、説明を行う。

(田澤学校教育課長) 学校提案型特色ある教育活動推進事業補助金交付は、全体の予算85万円を、各校の計画に基づいて、提案のあった内容を審議し、それに基づいて額を決めて補助金を交付するという事業である。平成22年度から始まり11年間実施してきたが、補助金の成果もあがったであろうということで、廃止を決定した。

(池澤教育長) 質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(5) 令和3年度教育研究所要覧について、説明を求める。

(田澤学校教育課長) 担当より説明させていただく。

(稲葉学校教育課主幹) 「令和3年度教育研究所要覧」に基づき、概要及び昨年度からの変更点について説明を行う。

- (池澤教育長) 質疑等はあるか。
- (石嶋委員) P 7の「パワーアップ研修」では、指導案の作成を一緒に行うのか。
- (稲葉学校教育課主幹) 今年度は主に伝達になってしまい、指導案の作成ができなかった。観点も変わってきたので、来年度は、指導案の作成を一緒に行っていきたいと考えている。
- (池澤教育長) 続いて、(6) 令和3年度下野市外国語指導助手派遣者について、説明を求める。
- (田澤学校教育課長) 令和3年度からは、ALT全員が業者派遣に切り替わる。現在、業者に派遣の依頼をしているが、コロナの関係で外国から来ている方の受入れが難しい状況であるため、全員が確定していないという報告があった。そのため今回は、報告を見合わせていただく。決まり次第、名前等を事前にお知らせし、4月の教育委員会で改めて報告させていただきたい。
- (池澤教育長) 総勢何名になるのか。
- (田澤学校教育課長) 9名である。
- (池澤教育長) 今年度は何名だったのか。
- (田澤学校教育課長) 今年度も9名であったが、4名が派遣で5名が直接雇用である。
- (池澤教育長) 現時点で何名決まっているのか。
- (稲葉学校教育課主幹) 7名決まっている。
- (池澤教育長) 次回の教育委員会で承認をいただくことでよろしいか。(全委員承認)
- 続いて、(7) 下野市生涯学習推進計画(第三次)について、及び(8) 下野市子どもの読書活動推進計画(第四次)について、一括して説明を求める。
- (篠崎生涯学習文化課長) 「下野市生涯学習推進計画(第三次)(案)」及び「下野市子どもの読書活動推進計画(第四次)(案)」に基づき、概要の説明を行う。
- (池澤教育長) 質疑等はあるか。
- (佐間田委員) 「下野市生涯学習推進計画(第三次)(案)」のP 19に「勤め人」とあるが、これはよく使う表現なのか。
- また、「下野市子どもの読書活動推進計画(第四次)(案)」のP 1に「身に着ける」とある。この「着ける」を使うこともあるようだが、一般的には「付ける」なのではないか。それとも意図的に「着ける」を使っているのか。
- 「下野市子どもの読書活動推進計画(第四次)(案)」のP 10⑭の実施状況に、「高学年の子供たちが低学年に読み聞かせなどを行っている」とあるが、とても良い取組であると思った。コロナ禍で縦割りは難しいと思うが、「誰かのために」ということは動機づけになると思う。国分寺中学校区では、国分寺中学校の生徒が国分寺小学校に読み聞かせを行っている。小学校の中でも、高学年が低学年に読み聞かせをすることになれば、本を選ぶために図書館に通う動機づけになるのではないかと思いますので、是非取り入れていただきたい。
- (篠崎生涯学習文化課長) 言い回しについては、確認させていただく。
- (石嶋委員) P 28のアンケートは、学校を通して回収したものなのか。
- (篠崎生涯学習文化課長) そのとおりである。

- (石嶋委員) 学校を通したアンケートで回収率が94%や86%という数値は信じられない。どのようにアンケートを取ったのか。
- (篠崎生涯学習文化課長) 学校にアンケート用紙の配布をお願いしている。強制ではないことと、新型コロナウイルスによる休校の時期と重なったことで、このような回収率になったと考えられる。
- (池澤教育長) 他に質疑等はあるか。
- (熊田委員) 「子どもたち」、「子供たち」、「子ども達」と様々な表記の仕方をしているので、統一したほうが良いと思う。
- (篠崎生涯学習文化課長) 修正させていただく。

7. その他

- (池澤教育長) (1) 第二次下野市教育大綱の策定について、説明を求める。
- (近藤教育総務課長) 「第二次下野市教育大綱」に基づき、説明を行う。
- (池澤教育長) 質疑等はあるか。
- (石嶋委員) P6「いじめや不登校をはじめとする学校で起こる問題行動の未然に向けて」とあるが、これは、「防止」が抜けているのか。
- (田澤学校教育課長) そのとおりである。「未然防止」に修正させていただく。
- (石嶋委員) 副詞で「更に」という場合は、漢字が良いと思うが、接続詞で「さらに」を使う場合は、ひらがなの方が良いと思った。
- (池澤教育長) もう一度確認して再度提出をお願いする。
- 続いて、(2) 令和2年度小中学校卒業記念品の状況報告について、説明を求める。
- (田澤学校教育課長) 「令和2年度 学校別卒業記念品受入れ状況一覧」に基づき、説明を行う。
- (池澤教育長) 質疑等はあるか。(特になし)
- その他、篠崎生涯学習文化課長から。
- (篠崎生涯学習文化課長) 令和4年度以降の成人式について報告させていただく。11月の教育委員会定例会において、二十歳での実施とし、時期は1月の成人式の前日というお話をさせていただいた。名称については、県内の状況と、今年度の成人式実行委員会に取ったアンケート結果から、「下野市二十歳のつどい」とすることで、第5回社会教育委員会議において全会一致でご承認いただいた。
- また本日、「令和の御大礼 大嘗祭 悠紀地方風俗歌 記念歌碑建立記念式典」のチラシを配布させていただいた。3月28日に天平の丘公園で開催を予定している。
- (池澤教育長) 続いて、若林スポーツ振興課長から。
- (若林スポーツ振興課長) 下野市体育協会の名称が4月1日から下野市スポーツ協会に変更になる旨の報告をする。
- (池澤教育長) 続いて、田澤学校教育課長から。
- (田澤学校教育課長) 前回の教育委員会でご意見をいただいた「下野市特別支援教育推進計画」が完成したので、配布をする。ご指摘いただいた文言の修正をさせていただいた。

- (池澤教育長) 続いて、山口文化財課長から。
- (山口文化財課長) 来週、しもつけ風土記の丘資料館の引き渡しが行われる。予定では5月2日にオープニングセレモニーを行いたいと考えている。また後日、ご案内通知等を発送させていただく。
- (池澤教育長) 続いて熊田委員から。
- (熊田委員) 4月と5月の日程について、決定しているものや変更があれば教えていただきたい。
- (近藤教育総務課長) 3月中に日程表をお渡しする。
- (池澤教育長) 次回の教育委員会は、4月16日(金)午後1時30分からの予定とする。

本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後4時50分閉会。